

2月27日 教育福祉常任委員会

- ① **健康寿命**（寿命から要介護期間を引いた寿命）を伸ばす目標について現在の能美市の健康寿命（男 78.65 歳 女 82.92 歳）を明示し目標を分かりやすく市民に提示するよう提案
- ② **まなびフェスタ**について参加者が減少している事に、分科会開催者にも一段の工夫や参加の呼びかけを行なうべきではないかと提案
- ③ **学校教育のありかた**として、本来あるべき姿の「学ぶ場としての学校」であるために家庭でのしつけやあり方を考えるべき。学校からの指導が難しいのであれば議会などから発信すべきと要望
- ④ 道徳教育に「人を思いやる」**福祉教育**を取り入れるよう要望



3月21日 教育福祉常任委員会

- ① デイサービス事業の消耗品の実費負担の価格設定を明確に
- ② 認知症予防の**脳活トレーニング**を広く普及するよう要望
- ③ 就労継続支援事業で**障害者授産施設の商品販売拡大の支援**を要望
- ④ **障害者グループホーム**不足について市の設置支援を要望
- ⑤ 能美古墳群の1つの**和田山の荒廃**について整備を要望
- ⑥ **県民体育大会**の出場団体への支援を要望

(※回答や対応は順次皆様にお知らせしていきます。)

市政へのお声をお聞かせ下さい

選挙期間中に多くの方から市政への要望などをお聞きしました。今後も皆様からのお声を反映出来るよう努力してまいります。身近で気軽な市議会議員として多くの方々と接していきます。田中さくじろうに、ご指導ご支援をよろしくお願い申し上げます。



田中さくじろう後援会事務所

〒923-1124  
石川県能美市三道山町チ 16-2  
TEL 0761-58-5037  
FAX 0761-58-5209  
Mail 3926@c-mail.jp



「絆きずな」 ~能美市政報告~ 田中さくじろう

御 礼

平成25年2月3日の投開票日に4,631票を皆様からお預かりし、初当選させて頂きました。12月にスタートした後援会・選挙活動期間中は、皆様に大変なお力を頂きました。感謝、感謝です！本当にありがとうございました。

活動開始「絆」誕生！

2月 5日 当選証書の授与



2月15日 臨時議会

臨時議会ではありましたが初めての議会出席☆  
一人会派「絆」(きずな)を届出  
教育福祉常任委員  
環境特別委員と広報特別委員に選任されました。

2月21日 ~22日 環境特別委員会 視察研修

珠洲市~射水市~富山市を回って、バイオ発電・小水力発電  
環境工業団地の視察を行ないました。



3月18日 本議会 代表質問・一般質問

19日 本議会 一般質問

代表質問は2会派、一般質問は13人が行いました。

田中策次郎は2日目 1番目の順番となり初質問を行ないました。

①新しく作られる能美市地域防災計画の見直しの要点と、その計画の実施と市民に周知される時期はいつか？

今、能美市にとっての警戒されるべき災害は何であるかを、まず想定しその**危険度の高いものから対応策を考える事が必要**だと思います。能美市の中でも防災予算が増大したと言っても限りある貴重な予算です。津波を含め各地域にあわせた必要な防災対策を最優先に考慮し備蓄品の準備や救命機材の装備など**市民の命を守るため**に、その予算を何に使うべきかを検討を重ねて有効に使って頂きたいと思っております。

総務部長 3月中に作成、概要版を全戸に配布、町会への周知を進める。

②行政と町会の自主防災組織との連携したシュミレーションや防災訓練を実施出来ないか？

災害時の役割りで**町会が何をすれば良いのかを知りたい所**だと思います。具体的に町会に示すためにも市と町会の連携した防災訓練を望みます。

総務部長 防災士を中心とした関係団体等と意見を交え考えていきたい。

③自主防災組織や防災士への育成支援を

市が基本的な組織作りや防災士を育成支援する事業が必要だと感じます。市が入門～上級など**分かりやすい防災訓練レベルの提案**などを行ないそれに基づき各町が出来る範囲での防災対策を講じる事が理解しやすく**地域の防災力の向上**にもつながると思っております。

総務部長 防災士の育成支援と自主防災組織マニュアルの作成を進めたい



初当選の2氏登壇  
○2月の市議補選で初当選した田中、橋本の両氏が、そろって初めての一般質問に挑んだ。防災団体代表の田中氏は、講演に慣れているためか動じる様子を新たにした。28歳の橋本氏は188cmの長身で執行部席を見下ろしながらも「稚拙な質問があるかもしれない」と謙虚な言葉を述べた。記者席を掲げた各町データを掲げて答弁を迫る独自性を出した。両氏とも「これから質問に立つ」と晴れ晴れした表情に。

④九谷焼を能美市ホームページから効果的な発信は出来ないか？

様々な九谷焼の施設があり、多くの九谷焼の業者がある能美市では**九谷焼産地を有力な観光資源として利用すべき**だと考えます。若い人に加え年配層がゆっくりと時間を過ごせる九谷焼関連の能美市観光を提案すれば辰口温泉宿泊や周辺のにぎわいにもつながりそれに加えて九谷焼の底支えと業界の支援にもつながると思っています。

市民生活部長 著作権の問題があり特定の発信は難しいが、組合のホームページとリンクさせる。様々な手法を駆使して観光資源として売り込む。

⑤まちづくりの推進におけるボランティアとの連携状況は？

まちづくりにおけるNPOの支援が打ち出されており、さらに新しい取り組みが行われる事を喜んでおります。しかし、もう一面ではこれまでも長い間、地道に活動している教育・福祉・環境・防災などの**ボランティア団体との連携が少ない**ように思われます。

大きくアピール出来る活動では無い団体ですが**地域の支えとして、まちづくりの一端として頑張っている方達**が大勢います。

長く活動を行ない信頼性も高いこのような団体にも目を向け、様々なモノを考え作り出す新しいまちづくりの考え方と地域社会を支え守る伝統ある能美市のまちづくりの考え方がそれぞれの立場や独自性を尊重しながらも情報を共有し

**活動を支え合うような連携が必要**だと思います。

市民生活部長 これまで以上にボランティア団体や町会などと連携を深めたい。

⑥まちづくりに関連して

住んで良かったまちづくりのひとつは**福祉のまちづくり**だと私は考えます。それは手厚い支援をもちろん必要とされますが、福祉予算を拡充せよと言うばかりでなく**高齢者・認知症・障害者の方々の地域社会での理解と地域で支え合う**と言う考え方が広がる事が必要だと考えます。学校教育や生涯学習において広く市民が学び理解する事が

**「住んで良かった福祉のまち能美市」**だと思います。

本日多くの傍聴者がいらっしゃっておりますが、**私が議員として市政に関わる事によって一人でも多く市政運営に関心を持つ事を望みます。**

**誰もが自分らしく生きる社会づくりを目指し**能美市政の繁栄に努力してまいりたいと思っております。

